

2023年度第4回定例理事会議事録

第4回定例理事会を下記のとおり開催し、各議事等に係る質疑及びその経過並びに決定事項等は以下のとおりでした。

記

- 1 名称 2023年度第4回定例理事会
- 2 開催日 2023年10月17日(火) 11:00～
- 3 場所 白井市公民センター・1F会議室
- 4 出席者 出席者、欠席者
理事・監事 駒村武夫、宇津野嘉彦、尾籠和彦、藤本秀樹、栗原光弘
畠山泰哲、秋山浩輝、人見則夫、津覇賢吾、木村光夫、高橋 誠
阿部利明、伊藤邦宏、菅原 正、太田正美、佐野忠信、平川昌宏
野沢浩二、坂本龍悦、遠藤禎之、三輪 誠、奥村富央、永井雅一
山口裕矢、住友龍志、藤野邦夫、佐藤 誠、櫻井貞宏、湯浅信一郎
幹事 岩崎雄至、三田憲太郎、石橋健治、熊山武史
青年部 山口裕矢 顧問 白山良一、野水俊夫
船橋労基協・白井支部長 倉持忠勝
事務局 染谷敏夫、梅本真己子、塚原幸恵

5 関係機関からの説明事項

- (1) 中小企業大学校の概要について 中小企業大学校 (2名出席)
中小企業大学校の役割等について、及び中小企業診断士養成講座についての説明があり、製造業における診断実習企業としての協力依頼がある。
以前、(株)ソフケンにおいて行った実習の感想について、大変有意義であった旨、駒村社長から述べられた。
- (2) 今後の白井市のまちづくり・産業振興について 市産業振興課(企業誘致推進室)
(金井課長、黒澤室長以下職員2名、委託業者2名出席)
市産業振興課から「白井工業団地の就業環境の改善及び活性化に向けて」として、白井工業団地の基本認識、市の総合計画での位置づけ、環境改善に向けた基本的な考え方、課題と取組みの方向、そして検討体制の案などの説明があり、その後質疑を行った。
(主な質疑)
 - ・工業団地内において、どこでも飲食店などができるように緩和できないのか。
⇒現状では、工業団地本通り(25m範囲)以外においては難しい。
 - ・就業環境の改善の項目に公共バスの拡充を含めて対応してほしい。雇用に当たっての最大のネックは通勤手段がないことである。
⇒通勤アクセスの課題は承知している。
 - ・雨水排水や上水道の整備をすべきではないか。
⇒産業振興の観点から重要と考えているが、担当部門が違うので伝えることとする。
なお、地域の地主等と協議をしながら民間による開発を誘導することで整備が促進されると考えている。
 - ・工業団地アクセス道路の整備を早期に実施してほしい。
⇒アクセス道路に限らず県道西白井停車場線の河原子街道までの延長などについて、地域の関係者の意向を聞きながら民間活力を導入した整備を考えている。

- ・白井工業団地の将来像をどう描くのか。
⇒関係する地域の方々と工業団地の方々と協議しながら望まれる将来像を検討していきたい。
- ・その他

6 報告事項

以下3件について、染谷事務局長から報告する。

第1号報告 2023年度白井市への要望書に対する回答の件

本年8月8日に白井市に提出した要望書に対する回答が10月2日付けで別添のとおりましたので報告します。

この件については、11月21日(火)午前中に市との連絡調整会議を開催する予定で、詳しい説明と意見交換を行うこととしていますので、内容を確認しておいてください。

第2号報告 アンケート調査等の回収状況の件

以下のアンケート調査等については、9月上旬から10月3日(火)までの期間で全会員を対象に実施しましたが、両調査とも期日までの回収数は50件程度となっておりますので、現在、10月20日(金)までに期日で再依頼をしているところです。

今後、データがまとまり次第報告をさせていただきます。

- ・ハザードマップ作製に関する調査 56件
- ・新たな交流事業に関するアンケート調査 46件

第3号報告 第2回ブロック会議の結果報告の件

9月26日(火)に開催したブロック会議の概要について、別添議事録のとおりに報告します。

なお、出された意見・要望については、現地確認や関係者との調整等を行い、順次対処していくこととしています。

7 議事

議長は、次の4議事について、説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から説明と提案があり、直ちに、議事毎に慎重審議した結果、全員一致をもって承認可決した。

なお、4号議事については、代表理事に関する案件のため染谷事務局長が議事進行をし、全員一致をもって承認可決した。

第1号議事 基金（出資金）返還に伴う会計処理の件

2010年(平成22年)8月に募集した基金（出資金）については、本年7月末日をもって返還の手続きを完了したところですが、この基金の返還に係る会計処理に当たっては、2022年度決算書及び2023年度予算書の一部を修正する必要があります。

については、顧問税理士の指示のもと修正し、その承認については三役会議に一任することとする。

- 修正内容
- ①本来、返還を要する基金については、預り金として負債に計上しておくべきで。
 - ②返還に関する予算項目を追加する。
 - ③その他

第2号議事 基金・積立金の分離に関する会計処理の件

これまでの会計処理に当たっては、積立金を含めて一つの会計として処理していましたが、積立金については、別会計とし処理することとする。

これにより単年度収支と積立金が明確に区分でき、当協議会の財務状況がより明確となる。

なお、積立金のうち「消費税等積立金」については、消費税等の処理は年度ごとに行うものであることから、積み立てる必要性が薄いため廃止することとする。

〔基金・積立金の状況〕

単位：円

区 分		2023 年度 期首残高	2023 年度 期末残高(見込額)	備 考
基 金	(1) 出資金	1,400,012	0	今年度廃止
	(2) 退職給付引当金	2,318,203	2,818,203	
	(3) 事業等積立金	5,195,381	6,195,381	
	(4) 産業振興センター 改修等積立金	5,000,000	7,000,000	
	小 計	13,913,596	16,013,584	
積 立 金	(5) 消費税等積立金	3,736,744	0	今年度廃止
	(6) 災害等支援積立金	1,110,004	1,510,004	
	小 計	4,846,748	1,510,004	
合 計		18,760,344	17,523,588	

第3号議事 インボイス制度施行に伴う会計処理の変更の件

インボイス制度の施行に伴い、これまでの会計処理では不都合なものがあるため、顧問税理士の指示のもと、その処理を改めるものです。

例：①駐車場の収入に関し、これまで全額を収入としてきましたが、管理形態（直接管理と委託管理）により、預り金とするものが生じる。

②技能特別講習の収入に関し、これまで全額を収入としてきましたが、実施形態（出張講習と直接講習）により、預り金とするものが生じる。

③その他

第4号議事 利益相反取引の承認の件

当協議会では、案内板の更新を今年度予定していましたが、これまで看板の設置等を担当していた会社が代表者の死亡により事業を閉鎖したため、新たな会社に委託する必要が生じました。

については、先ず会員の中で対応できる企業を探したところ、以下の会社が安価にできることとなったため、発注をするよう進めております。

しかしながら、当該会社の代表取締役が当協議会の代表理事となっているため、当協議会定款第28条（理事の協業及び利益相反取引の制限）の規定に該当するため、当該取引について理事会の承認を得たうえで発注するものです。

(1) 取引の相手方：株式会社ソフケン 代表取締役 駒村武夫

(2) 契約予定額：953,700円（税込み）

(3) 事業概要

①名称：白井工業団地案内板製作工事

②内容：デザインデータ作成

大型看板1基、中型看板1基、小型看板8基の更新
その他付随工事一式

《全体を通しての主な意見等》

- ・先日、白井梨マラソン大会があり参加をしたが、工業団地内を走るコースとなっており、観客がなく寂しい状況である。工業団地で何か工夫ができるとよい。
- ・雨水配水管の拡大ができないか市に相談したが、本管がそれに対応できないため困難とのことであった。
- ・今後、市と協議できる場があるとよい。今回は、市の考え方が聞ける場となった。
- ・構想道路ができるとよい。
- ・ブロック会議を開催したことで、他社の意見などが聞けて良かった。
- ・今回の市との意見交換では、市の回答が全体的に曖昧で、何を言っているのかわかりにくい。もっと直接的な回答をして欲しい。
- ・フクダ電子の増築工事が本格的に始まるので、ご理解をお願いしたい。
- ・委員会活動を活性化していく必要がある。
- ・今回のアンケート調査2件の回収件数が少ないが、もっと関心を持っていただき、協議会活動に参加をしていただきたい。
- ・その他

上記の決議等を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び監事がこれに記名押印する。

2023年10月18日

一般社団法人白井工業団地協議会理事会

代表理事 駒村 武夫

監事 栗原 光弘

監事 畠山 泰哲